

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

2024年5月8日発行



■目次

1.	会社概要	1
2.	認証登録対象範囲、発行日等	2
3.	環境経営方針	3
4.	実施体制	4
5.	中期環境経営目標	5
6.	主な環境活動計画の取組結果とその評価	6
7.	次期の計画	7
8.	環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟の有無	8
9.	緊急事態訓練	9
10.	代表者による全体の評価と見直しの結果、指示	10

1. 会社概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模、許可の内容等）

◆事業所名及び代表者氏名

山陽食品株式会社 代表取締役 澤田 和雄

◆所在地

本社：広島県広島市南区上東雲町18-36
倉庫：広島県広島市南区上東雲町25-19

◆法人設立年月日 1955年4月1日

◆資本金 2,000万円

◆環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者： 三玉 登志美
担当者連絡先： 082-281-3050

◆事業活動

コンビニ店舗向け商品の開発・製造
製造品目 サラダ、惣菜
生産能力 40,000食/日

◆事業の規模

項目	単位	2023年(9月期)
総売上高	千円	1,088,000
従業員数	人	140
床面積	m2	311.14

○主な自社開発の産地訴求商品

- ・ごまボン酢豚しゃぶ鍋 広島県産豚使用
- ・豚しゃぶのラーサラ 広島県産豚使用
- ・大山どりのごまごまチキン
- ・ヒバゴンネギと大山どりのピリ辛和え
- ・因島産たまねぎのサラダ
- ・高野町産トマトのサラダ
- ・鳥取県産ねばりっこのネバネバサラダ
- ・その他、広島県産、鳥取県産の野菜（ピーマン、茄子、白葱など）



2. 認証登録対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲

本社、総務（倉庫）の全活動

レポートの対象期間

2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日

レポートの発行日

2024年 5月 8日

3. 環境経営方針

山陽食品環境経営方針

- ①山陽食品株式会社は、地域と共に発展して行く為に企業活動を通じて環境の保全と改善に向けての取り組みを積極的・継続的に行い地域への責任と役割を果たしていきます。
- ②エコアクション21環境経営システムを構築・運営し環境への取り組みを継続的に行います。
- ③食品製造を行う上で環境に配慮した商品提案・商品設計を行い環境保全、環境汚染の防止に努めます。
- ④関連企業への環境保全・環境汚染の防止を働きかけ以下の環境改善活動を広めていきます。
- ・ 二酸化炭素の排出量の把握、削減
 - ・ 廃棄物排出量の把握・削減（食品廃棄物等は除く）
 - ・ 食品廃棄物等の発生量及び食品循環資源の再生利用等の実施率
 - ・ 水使用量の把握・削減
 - ・ エコアクション21の活動を通じて働きやすい職場環境を推進いたします。
 - ・ 環境に配慮した食材を使用した商品の提供。
- ⑤エコアクション21への取り組みを有効に行う為に必要な情報共有を行います。
- ⑥環境に関する法令及び法規制の遵守に努めます。
- ⑦環境経営レポート作成及び公表をします。

制定日 2023年10月1日

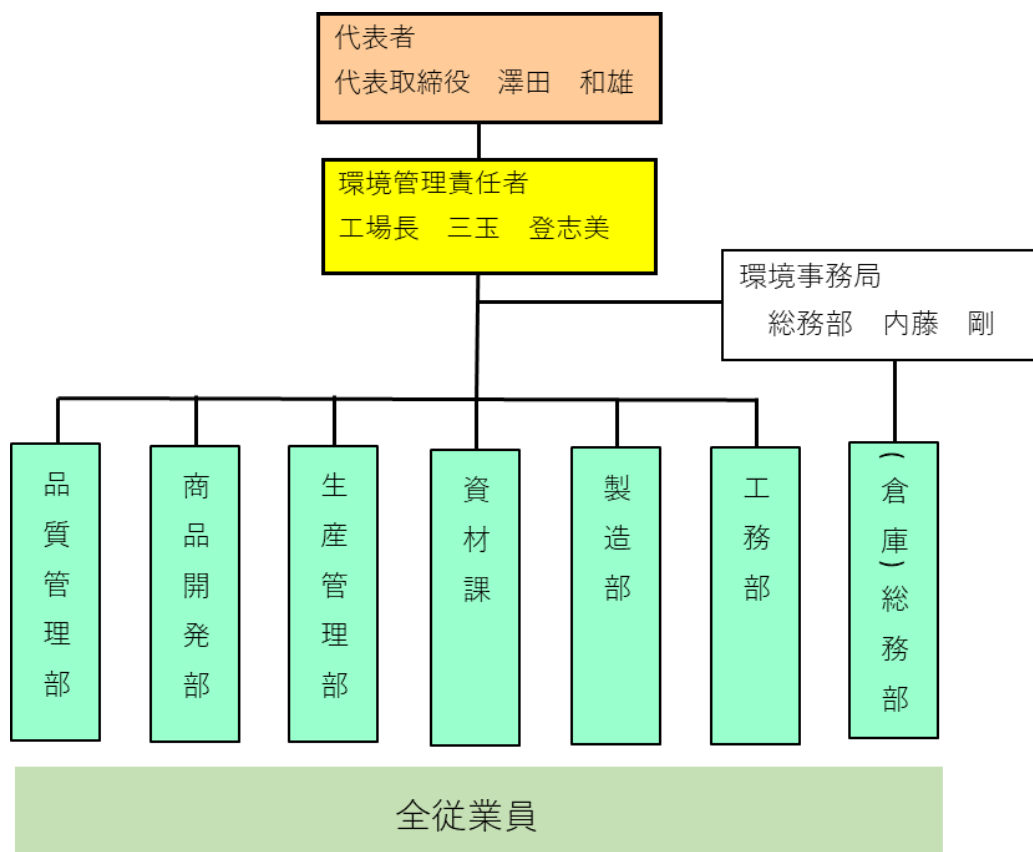
改訂日 年 月 日

代表取締役 澤田 和雄



4. 実施体制

環境経営システム組織体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境経営計画書を承認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成

	・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 中期環境経営目標

●中期目標

項 目		単位	基準値 (基準年度) 21年4月～22年3月	年度毎目標・達成手段		
				2022年 (11月～3月)	2023年 (4月～3月)	2024年 (4月～3月)
二酸化炭素 排出量	電力	Kg-CO2	283,225	99,197	3%削減	4%削減
	化石燃料	Kg-CO2	6,323	1,934	3%削減	4%削減
	LPガス	Kg-CO2	418,467	171,273	3%削減	4%削減
	合計	Kg-CO2	708,015	272,404	3%削減	4%削減
廃棄物 排出量	一般	kg	53,366	19,936	3%削減	4%削減
	産廃	Kg	5,360 (22 '11～'23' 3月)	0	3%削減	4%削減
食品廃棄物等の発生抑制及び食品循環資源再生利用実施率の向上		%	100%	100%	100%	100%
水使用量		m ³	21,932	7,976	3%削減	4%削減
環境配慮製品の販売促進		アイテム	9	6	11	11
化学物質		-	-	適正管理	適正管理	適正管理

※ 2023年度の目標は2021年4月～2022年3月を実態把握とし、この数値を基準値とし、削減目標値を設定する。

※ 電力排出係数はR4実績の日本テクノ0.465 kg-CO2/kWhとする。

6. 主な環境経営活動計画の取組結果とその評価

2023年 4月～2024年3月の環境経営活動に対して、実績評価を実施しました。

項 目		単位	環境経営活動計画	目 標	実 績	評 価
				2023年4月 ～24年3月	2023年4月 ～2024年3月	
二酸化炭素 排出量	電力	Kg-CO2	・高効率の機器や製造設備の導入 ・不要時の照明電源のOFF ・PC節電設定、使用後の電源OFF ・システム導入による温度分布帯把握	274,729	296,347	夏季期間が未達成。 後半対策を強化するが 目標には未達。 継続活動を！
	化石燃料	Kg-CO2	・省エネ車両の導入 ・エコドライブ推進、急加速、急発進 ・アイドリングST推進	6,133	4,415	達成はできているが 全体を巻き込んだ 一層の改善を！
	LPガス	Kg-CO2	・高効率製造設備への更新 ・給湯器の時期による湯温設定変更 ・ボイラー立上げ時間調整	405,913	389,044	達成出来ているが 未達成の月も有り。 一層の改善を目指す。
	合計	Kg-CO2	データ収集した内容を部署責任者より 各部署の従業員に周知し、取組み活動の 推進に努める	686,775	689,806	達成に未達。 電力については更なる 対策が必要。より一層 の改善を目指す。
廃棄物 排出量	一般	kg	・工場内資料の簡素化 ・工場帳票類のペーパーレス化 ・原材料集約、ビニール類の使用量削減 ・紙ごみシュレダー化を啓蒙	51,765	49,641	達成できてはいるが、 今以上の分別、削減を。
	産廃	Kg	・廃油量の削減、ろ過機導入 ・汚泥廃棄量の削減、把握 ・低周波酸化抑制装置の導入	12,478	7,120	実績データを集め 適正な管理を目指す。
食品廃棄物等の 発生抑制及び食品循環資源 再生利 用実施率の向上		%	食品リサイクル率は100% 環境目標設定はおこなわず 適正管理ができているか定期的に確認。	100%	100%	達成出来ているので、 このまま維持継続したい。
水使用量		m3	・水道メーターの取付、データ収集 ・生産機器を節水タイプに更新 ・漏水点検 ・下水排出比率の把握	21,274	22,858	節水活動に取組み、 データ収集を継続。
環境配慮製品の 販売促進		アイテム	・地産地消を主とした商品開発 ・産地訴求原材料の確認、使用計画	11	20	達成出来ているので、 このまま維持したい。
化学物質		-	使用量が極めて少ないため、目標設定はおこな わず、適正管理について定期で確認	-	適正管理	適正管理

※電力排出係数はR 4 実績の日本テクノ0.465 kg-CO2/kWhとする。

※2023年4月～2024年2月の食品廃棄物等の発生量及び食品循環資源の
再生利用等実施率（実績）は、以下の通り

項目	単位	2023年4月 ～2024年2月実績
① 発生量	kg	67,450
② 有価物量	kg	
③ 発生抑制量	kg	
④ 再生利用量	kg	67,450
⑤ 熱回収量	kg	
⑥ 減量量	kg	
⑦ 再生利用等以外の量	kg	
⑧ 廃棄物としての処分量	kg	
⑨ 再生利用等の実施率	%	100%

EA21 環境経営活動に 12 ヶ月取組み、上述のように見直し会議を開催し、工場で年間を通じた実態の把握をおこなうことができました。一部の項目においては目標を達成することができましたが、目標達成できていない項目も多くあり、工場全体で更なる改善活動に取組む必要があると感じました。

7. 次期の計画

この結果を踏まえ、EA21 環境活動を更に効果あるものとするために、
2024 年度(4 月～3 月)の活動目標を次のように改めて取組むこととします。

項 目		単位	環境経営活動計画	基準値 (21' 4月 ～22 '3月)	目標 2024年度 4月～3月	取組内容
二酸化炭素 排出量	電力	Kg-CO2	・高効率の機器や製造設備の導入 ・不要時の照明電源のOFF ・PC節電設定、使用後の電源OFF ・システム導入による温度分布帯把握	283,225	4%削減 271,896	生産終了後の 生産機器の 電源OFF
	化石燃料	Kg-CO2	・省エネ車両の導入 ・エコドライブ推進、急加速、 急発進 アイドリングST推進	6,323	4%削減 6,070	エコドライブ運転 の推奨
	LPガス	Kg-CO2	・高効率製造設備への更新 ・給湯器の時期による湯温設定変更 ・ボイラー立上げ時間調整	418,467	4%削減 401,728	ボイラー立ち上げ 時間の調整
	合計	Kg-CO2	データ収集した内容を部署責任者より 各部署の従業員に周知し、取組み活動の 推進に努める	708,015	679,694	使用状況全体の 把握と 不要時の停止
廃棄物 排出量	一般	Kg	・工場内資料の簡素化 ・工場帳票類のペーパーレス化 ・原材料集約、ビニール類の使用量削減 ・紙ごみシュレダー化を啓蒙	53,366	4%削減 51,231	情報のデータ化に よる削減。 原材料の集約、 歩留管理。
	産廃	Kg	・廃油量の削減、ろ過機導入 ・汚泥廃棄量の削減、把握 ・低周波酸化抑制装置の導入	※実績なし	4%削減 12,349	新機器の導入による 廃油量の削減。
食品廃棄物等の発生抑制及び 食品循環 資源再生利用 実施率の向上		%	食品リサイクル率は100% 環境目標設定はおこなわず 適正管理ができているか定期的に確認	100%	100%	歩留改善、不良品の削減 使用原料の見直し
水使用量		m ³	・水道メーターの取付、データ収集 ・生産機器を節水タイプに更新 ・漏水点検 ・下水排出比率の把握	21,931	4%削減 21,055	水道メーターの取付 データ採り
環境配慮製品の 販売促進		アイテム	・地産地消を主とした商品開発 ・産地訴求原材料の確認、使用計画	9	11	地産地消による 二酸化炭素削減
化学物質		-	使用量が極めて少ないため、目標設定はおこ なわず、適正管理について定期で確認	適正管理	適正管理	適正管理

※基準値及び目標は12か月分としました。

(削減目標4%を削減したものを目標数値とする)

※電力排出係数はR 4 実績の日本テクノ0.465 kg-CO2/kWhとする。

8. 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟等の有無

	法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価	
			証拠	定 判
義務	食品衛生法(52 条)	食品営業許可	届出書 資 格	○
	食品リサイクル法 (2 条)	食品循環資源の再生利用	自主管理	○
	廃棄物処理法 (12 条)	委託基準、保管基準	届出書 マニフェスト	○
	下水道法 (12 条)	除害施設届出、水質測定	届出書 水質測定結果	○
	フロン排出抑制法(6 条)	点検記録	記録簿	○
	道路交通法(74 条)	安全運転管理者の選任	資格者	○
	労働安全衛生法(11 条)	安全管理者の選任	資格者	○

※カッコ内数値は条項を示す

環境関連法規等の遵守状況は上記のとおりであり、訴訟、苦情等は過去3年間ありません。

9. 緊急事態訓練

- 日程 : 2023 年 10 月 6 日実施
- 想定 : 本社 3 階 加熱室火災
- 教育訓練内容 : 緊急事態対応手順書説明
避難経路の確認
緊急連絡網確認
消火器使用方法説明
- その他 : 手順書の内容変更
火災発生場所による避難経路の確認
- 参加者 : 日勤者 41 名、夜勤者 43 名 参加

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果、指示

EA21 環境活動に 12 ヶ月取組んだ後の 2024 年 4 月 5 日に見直し会議を開催しました。主な内容は下記の通りであり、取組みにおける課題の抽出・目標設定等を見直し、今後の活動がより定着し、効果あるものとなることを目指すことといたしました。

■環境管理責任者の報告及び提案

① 環境経営目標とその結果

・電力	目標値	274,729	実績	296,347	判定	×
・ガソリン	目標値	6,133	実績	4,415	判定	○
・LPガス	目標値	405,913	実績	389,044	判定	○
・廃棄物	目標値(一般)	51,764	実績	49,641	判定	○
	目標値(産廃)	12,478	実績	7,120	判定	○
・水使用量	目標値	21,274	実績	22,858	判定	×
・環境配慮製品の販売促進	目標値	11 アイテム	実績	20 アイテム	判定	○

② 緊急事態の教育訓練の実施。

2023 年 10 月 6 日 火災訓練実施 (日勤 41 人、夜勤 43 名参加)
消火器の位置、捜査方法の説明実施

③ 環境関連法規制の順守状況

2023 年 8 月 21 日に評価を実施し、結果順守されていることを確認した。

④ 地域ボランティア、周辺道路清掃、苦情のない様に徹底する。

■代表者による全体の評価と見直し（マネジメントレビューの結論）

① 12 ヶ月経過し目標数値も全て揃い削減目標を達成すべく全社員で
創意工夫し改善活動をおこなうこととする。

② 目標・計画達成状況、報告を受けて達成できた項目、未達成項目もあるが、
12 ヶ月実態を把握できたことで、既存の活動をあらためて見直し、
必要に応じて行うべきことを指示した。達成方法（手段）の更なる検討が
必要であるとの認識を提示した。

○見直しの必要性の有無

項目	見直しの必要性の有無	備考
環境経営方針	有 ☐ ・ 無 ☒	
環境経営目標	有 ☐ ・ 無 ☒	
環境経営計画	有 ☐ ・ 無 ☒	
実施体制	有 ☐ ・ 無 ☒	